



つつじ咲く 尚和園前庭

尚和

※この題字は渋沢栄一先生の筆跡を組み合わせたものです。

社会福祉法人 埼玉県共済会
さいたま市緑区原山三丁目一五番三号
TEL 〇四八(八八二)三〇一三



新型コロナウイルスとの 戦いの中で

理事長 福島 正道

本年は、五十六年ぶりにオリンピック・パラリンピックが東京で開催されるという記念すべき年として、多くの方が期待感に胸躍らせ、新しい年を迎えられたことと思われます。その輝かしい年が幕を開けた一月に、隣国中国武漢市での新型コロナウイルスによる感染症の爆発から、三月十一日には世界的な感染拡大に伴うパンデミックがWHOから宣言され、東京オリンピック・パラリンピックの開催も一年延期となってしまいました。

日本では、四月七日に「緊急事態宣言」が出され、不要不急の外出の自粛や企業におけるテレワークの奨励、店舗の営業自粛などを経て、漸く五月二十五日に宣言が全面解除され、今「新しい生活様式」の中で、第二波の訪れに戦々恐々としながらも、徐々に以前の日常が取り戻されつつあります。

当法人では、ご利用者とそのご家族、そして職員の感染予防に最大限の力を注ぎ、お陰様で現在まで当法人の関係する方々で感染したとの報告は耳にしておりません。この間、ご利用者の皆様やそのご家族、また理事・監事の役員や評議員の皆様には、大変なご心配とご苦勞をおかけし、改めてこの場をお借りして御礼申し上げます。

今後は、当法人が運営する各種事業についても、通常の業務が行えますよう、職員ともども取組んでまいりる所存ですが、見えない敵との戦いは終わった訳ではありません。最新の情報に耳を傾けながら、皆様の安心・安全を最優先に適宜適切な対応に努めてまいりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

新任の「あいつ」

尚和園園長

令和二年四月に着任し、三ヶ月が経過しました。着任前から前任の園長である布川氏から引継ぎの機会を数回設けていただき、かなり細かな点までご指導いただきました。しかし、園長としての最初の仕事は、新型コロナウイルス感染症が国内で拡大し、『緊急事態宣言』が国から発せられた四月七日、これから県や市から示されるであろう「緊急事態措置」への事前の備えとして、臨時の『感染症対策委員会』を開催し、法人が運営する各事業の取組方針をまとめることでした。

お年寄りに安全・安心で心地よい暮らしの場を提供し、また地域の高齢者とそのご家族の日常生活をサポートする尚和園のサービスは、こうした感染症の蔓延が拡がる中でも全てをストップさせる訳にはいきません。利用者と職員の健康と安全を第一に、皆さんのご理解とご

協力をいただきながら、一部業務の縮小はありましたが、ここまで大きな問題もなくサービスを継続させることができました。

この度の新型コロナウイルスによるパンデミックは、私たちに多くの不安と混乱そして不自由をもたらしましたが、その一方で多くの気づきと学びをもたらしてくれました。世界中で医師・看護師などの医療従事者が示した献身的な自己犠牲の精神や人間愛、また、我が国では強制的な都市封鎖を行うことなく、自粛の要請だけで皆が一致団結して受け入れる寛容性・協調性の高さを示しました。

この度得られた気づきと学びを教訓とし、私も気持ちを新たに、これからも尚和園が地域の皆様の心豊かな生活に少しでもお役に立つ組織となるよう、微力ながら力を注いでまいりたいと思います。



祖父を思い出させる 尚和園

事務局長

「酒飲めば いつか心も 春めきて 借金取りも 鶯の声」

これは、私のおじいちゃんがよく唸っていた詩です。二つの大戦を経験したおじいちゃんは、寡黙でしたが物知りだったことを覚えています。信越化学の工場を華々しく退職し、麵打ち機械を購入までしてラーメン屋を始めましたが失敗し、晩年は郷土史を編纂していました。孫が大勢いて、私などが里帰りすると、平素は一杯で終わるコップ酒を自分で注ぎ足しながら、機嫌良さそうに詠ったのです。

入所されている皆様方も、戦後の復興に貢献したり、会社や地域に功績を残したりされた方々に違いありません。聞くところによると、絵画や書、手芸に俳句などと、熟達の方が大勢いらつしやるとのこと。どうか皆さん、ご自身の特技に益々磨きをかけてください。そしてい

つの日にか、文成都市浦和に尚和園あり、尚和園に諸芸に秀でた老人多し、と言われたいものです。

こう言う私は、この四月に配属されたばかりの新米で、市役所勤務三十七年間に様々な仕事を体験しましたが、高齢者施設は初めてです。意味不明の業界用語と環境の変化に日々冷汗です。一日も早く、尚和園に自分の経験を活かしたいと思うものの、反省ばかりを持ち帰りコップ酒の毎日です。

締めくくりに、おじいちゃんのもう一つの傑作「五升酒」をご紹介します。とくとご賞味あれ。

「世の憂さを 忘れるための酒なれば 呑んで暮らすは 一生(一升)の徳、極楽は しま黄金と 聞くなれど 酒なき里は 何にしよう(二升)ぞえ、雨風の いと烈しき 夜半なれど 酒と聞いたら 急ぎ参上(三升)、諸芸には 教えのうては 叶うまじ 酒ばかりは 師匠(四升)要るまえ、下戸なのに 強いてさされる 盃を 一つ助けるも 後生(五升)なりけり」

誕生会開催に感謝

養護利用者親睦会会長



尚和園に入所して満九年になりました。入所の年、東日本大地震が発生、甚大な被害を受けた記憶が、昨日のように思い出されます。

そんななか、今年に入って、新型コロナウイルス感染症が、世界全土に感染拡大、日本にも上陸しています。このコロナウイルスはワクチンがなく、外国では感染者が驚く程多く発生、死者も多く出ています。三月から日本でも感染者が多数出るようになり、死者もそれに比例して出るようになりました。尚和園内では、まだ感染者は一人も

なく、ほっとしています。それも尚和園の早い決断の元、コロナウイルス感染予防対策を的確に実行したことによる結果だと思っています。そんな状況の中、年中行事の毎月の誕生会を開催していただき利用者一同にかわつて、心から感謝を申し上げます。私達も、自分の命は、自分で守るという信念で、これから終息するまで、コロナウイルスと戦ってゆきます。さて今年も猛暑がやってきます。コロナウイルス拡大で、心身とも、疲れていることと思えますが、ありつたけの力を出してこの夏を乗り切ろうね。こまめに水分をとり、部屋の換気と、温度の調整に気をくばり、熱中症対策万全でお願いします。

母の教え

栄養課課長

管理栄養士として特養で働き始めて、十五年が経ちました。高齢者の食事については初めてで、無我夢中の毎日だったの

で、ゆっくり振り返ることが無かったように思います。

私が栄養士を目指したきっかけは、中学の時に「栄養と料理」という月刊誌を手にしたときに始まります。高校生で進路を決めるときに母から栄養士か介護の仕事が向いていると言われたことがありました。突然介護と言われたことに少々驚きましたが、母には先見の明があり、もしかしたら将来の高齢化を考えて介護ビジネスが成長すると伝えたかったのかもしれない。どちらにしても、誰かの役に立つ仕事をしなさいという教えだったのでしよう。介護施設の栄養士として働くことが決まった時に母に「良かったね」と言われたことも覚えています。今にして思えば、母の導きだったのかもしれないね。

母の教えの一つに「泥田(どろた)の中の蓮の花」という言葉があります。母が田舎から東京に上京する際、祖父から言われた言葉だそうです。祖父には都会の生活に染まらず、素朴な今のままでいて欲しいという願いがあったのでしよう。私がこ

の話聞いたのも高校生の頃で、進路のアドバイスと共に、胸の奥で小さな炎が灯された思いがしました。

母が私にその教えを伝えたかったのは、その精神にあると思います。蓮の花には浄化作用があるので、色々な事に流されず、自分らしく凛として生きること。正義の気持ちを忘れないことだと感じました。

私も定年を迎え、今や高齢者の食事が自分のためになる年になりました。初心に戻り、母の教えを子や孫に伝えていきます。きっと誰かの役に立つと信じて、母には感謝の言葉を贈りたいと思います。



尚和園で働きはじめて

特養介護士



尚和園で働きはじめて一年半が経ちました。以前は特別養護老人ホームの中での特養とシフトを経験してきました。私はユニットで働きたいと思ったのは、一人一人の生活の場、また、一人一人寄り添える場という事で選びました。入職して「ユニットとは？」と日々考えながら職員同士相談し頑張っています。毎日の中で、手探り状態でも入居者とお話したり、寄り添い、時には悩み事のお話を聞いたりして、日々、入居者様の笑顔を引き出せる介護をしています。また、人生の先輩達に

相談したりして、さすが「年の功」と思い楽しく仕事をしています。私の目標として、一人一人の笑顔を引き出し、一人一人の今までの生活を維持し、楽しく笑顔あふれる職場でありたいと思います。また大きな目標として「選ばれる介護」、「選ばれる施設」でもありたいです。最後に一言、私は介護歴は未熟のまままだまだ知識を高めなければいけないのですが、あと何年かで定年を向えてしまっています。(笑) 笑顔いっぱい頑張っています。今後とも元気いっぱい職員同士支えながら頑張っていきたいです。

三回目に尚和園だより

デイサービス介護士



今回で三回目となる尚和園だより。月日が経つのは早いもので、デイサービスに勤務して七年となりました。どんな仕事か何もわからず始めた介護の仕事、これほど長く続けられるとは思いませんでした。

私は父の脳梗塞がきっかけで介護職に就きました。倒れてから十九年間という長い歳月を頑張った父の最後の二年間は、尚和園の特別養護老人ホームでした。同じ施設内で面会にもすぐに行かれ、職員の皆様も父の様子を頻りに伝えて下さりとても安心できました。自分の職場で父の最期を迎える事ができ、介護の仕事が続けてきて本当に良かったと思います。

今年二月から新型コロナウイルスの感染が全国に広まり、デイサービスでも感染拡大防止に努めながらサービスを提供させて頂いていただいています。利用者様からは、休業にだけはならないで欲しいという言葉が多く聞かれました。送迎乗車前の検温と健康チェック、利用の時間短縮、生活の維持に必要なサービ

ス内容に限定等の対応をし、休業とならないよう予防策を徹底しました。

こんな時だからこそ利用者様は毎回来られる事をとっても楽しみにしてください、皆さんの笑顔や感謝の言葉が、私たち職員にとって励みになっています。

そのためにも、(毎日の検温と健康チェック)(手洗いとうがいと消毒の励行)(マスクの着用)(社会的距離を保つ)等の実践して、「楽しみと笑いを忘れずに」利用者様と職員で協力して、心と体が元気になる一日を楽しく過ごせたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

一年が経ち……

地域包括支援センター
主任介護支援専門員

シニアサポートセンターに就任して一年が経ち、このような機会をいただき、振り返ることができました。介護予防及び日



常生活支援を目的として、利用者の心身の状況に応じて、利用者の選択に基づき、適切なサービスが包括的、かつ効率的に提供されるような必要な援助を行うなど、介護予防、生活支援サービス事業、一般介護予防事業、市の独立施策、市場において民間企業により提供される生活支援サービス、本人の取り組み、家族や地域住民による支援など多岐にわたります。住み慣れた地域で生活を営み続けていただけけるよう、自己研鑽していきたいと思います。皆様方のおかげで一年を何とか勤める事が出来、日々感謝の気持ちをお忘れずに、一歩づつあゆんでいきたいと思ひます。

祖父の詩に「吾がすがたうつす鏡に ほぼ笑みを 人につ

半世紀を過ぎた 新人職員として

ホームヘルプサービス
所長

くして「楽しかるべし」との祖父の思いを心に留めて、私自身の人生も楽しみのあるものにしたいて考え、自分はどうありたいのか探究心を持ち続けていきたいと思ひます。

令和二年四月より、尚和園の新人職員として入社させていだきました。自分が配属された部署は、在宅福祉部にある訪問介護事業所所長と居宅介護支援事業所の兼務職員として配属され次長としても業務する状況となります。新人職員と言えは若い方をイメージするかと思ひますが、自分は人生半世紀を過ぎている新人職員となります。

また、配属されました、訪問介護事業所と居宅介護支援事業所は、女性の方一〇〇%の職場となり、現場の職員の皆様はさぞビックリしたと思ひます。

人生長く生きてくると、いろ

いろな事が起きると思ひますが、これもその中の一つではないかと自分は思っています。それでも、こんな「おじさん」を受け入れてくださった皆様に感謝感謝です。

ただ、気のせいなのかもしれませんが、何故かあまり新人として見てくれている方が少ないように感じるのは……自分の態度がデカいのか？それとも気のせい？なのかと思う、今日この頃です。

それでも、尚和園の皆様と仕事が出来ること、改めて感謝し、職員の皆様やご利用者様ご家族様とお話しができる、そして人と繋がっていける事の大切さを感じ、業務に携わらせて貰っております。

大した事は出来ませんが、今後はいただいた機会を楽しみながら自分として生きていきたいと思ひます。

最後になりますが、自分達が行っている業務を自分に置き換えてみると、普通に暮らせるという事が、どれだけ大切な事なのかを改めて噛みしめております。



これからも、その人が求める生活とは何なのかを、寄り添いながら悩み考え、与えられた業務を楽しく嬉しくやっけていきたいと考えております。

人生は、一人ひとり全て違いますし、答えは一つではないですし、山あり谷ありですね！

おやじの新人社員ですが、どうぞこれからも、宜しくお願ひ致します。

登壇礼(とうしょうれい)
帆船において最高の礼と
されています。

感謝の気持ちを込めて

アンシャンテ介護士



四月からアンシャンテの介護職員として入職し、二ヶ月が経過しました。

これまでは同じ介護の仕事ながら、在宅支援に携わってきたためあまり体を動かすことがなく、施設介護の現場も実に十八年ぶりのため、自分の体力がもつのか、長年の間に変化してきている現在の介護技術に自分の方法が適応しているのか入職当初は不安を抱えていました。

現在では体力の面では問題なく過ごすことができ、介護方法などについても先輩職員の方々と、時にはご利用者様に色々

教えていただきながら、なんとか個別性や自立支援に向けた視点での介護を提供できるような頑張っているところです。

そのような日々のなか、ご利用者様から「ありがとう」「助かった」、そういったひと言を頂けることが私にとってとても励みになっています。職場はかわりながらも、長年福祉業界で仕事を続けていられるのも、ご利用者様からそういった労いや感謝の言葉をかけて頂いてきたおかげだと思っています。

そのため、安心して笑顔で気持ちよく過ごして頂けるよう、感謝の気持ちを込めて今後も頑張っていきたいと思えます。

緑豊かな街「緑区」

年輪荘園長

本年四月より年輪荘園長に就任いたしました中村です。どうぞよろしくお願いいたします。

年輪荘周辺は、緑豊かな環境にあり隣接する吉祥寺境内の緑と相まって、現在、芽吹いた樹

木の緑が光輝いて見えます。

私は、平成十五年の四月に政令都市移行に伴い設置された緑区役所に配属になり、緑区勢発展のため、微力ながらお手伝いをさせていただきました。

緑区の将来像は、「ホテル舞い・風かおる緑の街」です。「ホテル舞い」は見沼たんぼに代表される自然環境の豊かさ、「風かおる」は人々のさわやかさや躍動感、「緑の街」は、緑多いゆとりのある良好な住宅地・発達した街を表しています。

緑区のマスコットキャラクター「緑太郎」をご存知でしょうか。一〇区役所唯一のマスコットキャラクターで、頭は「埼玉スタジアム2002」、顔は唱歌で有名な「かかし」、身体と服装は「見沼通船堀の船頭さん」を表しています。各種イベントに登場し、さいたま市のキャラクターの「ヌウ」や埼玉県県の「コバトン」と子供たちの人気を争っています。

また、緑区には全国に誇れる「日本一」があります。桜はさいたま市と緑区の花で



緑太郎

す。もともとあった見沼代用水の西縁、東縁の桜を増やし、今では総延長二〇キロを超え、日本一の歩いて回れる桜並木となっております。

現在、コロナウイルスにより自粛生活を経て、私たちの日常生活も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあります。収束したら、来年は満開の桜を見にお出かけになつては、いかがでしょうか。

支援センターだより

本来ならこの尚和園だよりがお手元に届くころには、開幕が間近に迫った東京オリンピックで街は沸いている予定でしたが、新型コロナウイルスのためオリンピックは来年に延期。マスク着用・ソーシャルディスタンスの徹底・テレワーク等々、私たちの生活は一変してしまいました。そんなコロナ禍のなか、要介護者を抱えた方々が困ったこと、工夫したことなど徒然に綴ってみようと思います。

証言1 ▼ 実家は東北地方

「コロナ前は月に一回帰省していたが、自粛生活を強いられ県境を跨ぐのも憚られ、ここ数ヶ月は帰省出来ていません。実家では買物に不自由しているため、スーパーの食材宅配サービスを利用しています。もちろん、両親はネットを使いこなす

ことができないため、こちらで注文し、実家に食材が届くように手配しています。配達の間帯も分かるため、実家では安心して受け取ることができるようです。」

証言2 ▼ 家族が特養入所中

「緊急事態宣言が発令される前から施設は面会ができなくなり、もう何ヶ月も会うことができていません。私の顔も覚えていないのではと心配しています。様子を尋ねると施設の職員さんが応えてくれますが、やっぱり早く直接会いたい、それができないならせめてテレビ電話などを利用して直に話したい。」

証言3 ▼ 家族が入院中

「老人保健施設から発熱のため入院した。老人保健施設入所中から面会ができず、病院に入院しても面会が叶わず、病状の説明を受けるのみで・・・。家族と面会できたらもう少し気力を取り戻してくれるのではない

かと思う。仕事は自宅待機が続いているし、自宅に連れ帰り看ようかと考えている。」

ちなみに特別養護老人ホーム尚和園では準備が整い、タブレット越しに会話ができるようになりました。

コロナ収束後も「新しい生活様式」としてマスクは手放せなく、これから夏本番！夏期の気温・湿度が高いなかマスクを着用すると熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、適宜マスクをはずすようにしましょう。

公民館の転倒予防教室や尚和園々庭でのすこやか運動教室も、現在は開催されておらず、運動できる機会を提供できずに支援センター職員も心苦しいところですが、どうぞ、また、会場でお会いできるまではご自身で無理のない範囲で運動するよう心がけてください。

俳句

養護 高砂句会

木々の葉が
緑爽やか 夏日和

つゆあけて

青田の上を 初夏の風

窓開けて

早苗の風や ほほなでる

あやめ咲く

初夏の色 感じとり

初夏の 空に浮かぶや

亡き友の顔

ふるさとの

夜空をみれば 星一杯



埼玉県共済会のうごき

(令和二年一月～六月)

1/4 仕事始め式
理事長から今年幕開けの挨拶がありました。

4/1 年度始め式
理事長から組織改正による新体制のもと法人の一体的な運営等について話がありました。

5/11・15 令和二年度第一回職員研修「新型コロナウイルス勉強会」
講師 介護老人保健施設尚和園 アンシャンテ施設長 遠藤 昌夫様

養護老人ホーム

1/16 新たな年の始まりに、見沼たんぼにある氷川女体神社にみんなで参拝し、一年の幸せを祈願しました。

特別養護老人ホーム

1/24 愛らしいワンちゃんが二匹訪問してくれました。その可愛らしい姿や仕草に利用者の皆さんもたくさん癒されています。

デイサービス

3/25～27 見沼たんぼにある総延長二十キロにも及ぶ「日本一」の桜回廊の花を見に行きました。「見ごたえがあつてよかつた」との多くの声をいただきました。

老健(アンシャンテ)

2/3～5 節分を行いました。赤鬼めがけて豆をまき、邪気を払い、一年間の無病息災を願いました。

年輪荘

1/9 新年度初めの行事である親睦会主催の新年会が開催され、ボランティアの安来節彩友会様による、どじょう掬い踊りかつぼれ、花笠おどり等を披露していただき、最後は水戸黄門の主題歌に合わせて皆さんと一緒に体を動かし、楽しいひと時を過ごしました。

2/26 毎年楽しみにしている

埼玉県中華料理生活衛生同業組合様によりラーメンの慰問があり、本場のお店で食べる味を年輪荘で再現され、昔なつかしい美味しいラーメンをいただきました。皆さんスープまで残すことなく完食され、とても満足されました。

温かいお心遣いありがとうございました

(令和二年一月～六月・順不同)

【物 品】

尚和園

- 古民家カフェ藍様
- 落合 良子様

【ボランティア】

尚和園

- 認定こども園母の会様
- アニマルセラピー様
- 埼玉幼稚園様

アンシャンテ

- 傾聴 あゆみの会様
- 書道 新井山 千代美様
- 化粧 ハートケアメイク様

年輪荘

- 駒形囃子保存会様 (お囃子・獅子舞)
- 尾間木保育園様
- 傾聴 あゆみの会 シルバー人材センター様
- 和太鼓演舞 木本 友子様
- ヨガ指導 野島 美経様
- 埼玉県中華料理生活衛生 同業組合浦和支部様
- さいたま安来節 彩友会様

尚和園だより 第九四号

発行人 さいたま市緑区原山三丁目一五番三号

社会福祉法人 埼玉県共済会尚和園

理事長 福島 正道

印刷発行 令和二年七月一日

印刷 さいたま市浦和区常盤九丁目十一番号

株式会社 雄文社